

活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地		記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和7年1月22日（水）9時00分～11時30分	天気	晴れ 6.5°C52%（9時時点）	
参加者	浅川、安達、伊藤、江成、川口、北村、白川、田中、西原、平野、藤井、本田、松浦、目黒（一）、目黒（奈）、山畑			計16名
活動内容	森林保全活動			
使用道具	手鋸、ナタ、手鎌			
機器操作者	刈払い機		チェーンソー	
	浅川、安達、西原、藤井		川口、白川、平野、本田	
区域	A地区、B地区、E地区			
作業内容	①枯損木の伐木、②下草刈り、③林内整理			



朝礼では、安全第一であることを周知した



散策路沿いのロープを超えた森林内では、倒木が相次ぐ



安全具を装着しての伐木作業



同左

次回の予定：定例活動9:00～
2月1日（土）イヌシデ広場集合
2月8日（土）イヌシデ広場集合

イベント：
2月8日（土）森の資源を活用したモルックとクラフト・薪割体験

☆ボランティア募集・経験不問☆
第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中から好きな日の午前に参加可。活動日の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス

- 森林内でナラ枯れした木々はしなやかさを失っており、大きな枝が自重に耐えられずに折れ始めたり、根が幹を支えられずに倒れ始めたりする事象の発生が加速している。一本でも多くの伐木処理を進めていきたい。
- 散策路沿いのロープを超えた森林内は利用者が立ち入らない前提のため、安全を確認する機会が少ない。森林保全作業中の落枝や転倒時に備え引き続きヘルメットの着用を必須としながら、頭部以外の身体も保護するために極力枯損木の枝の下は歩かないよう注意喚起を重ねていく。
- ゴルフ場沿い道路から最寄りの散策路までの下草刈りを終え、見通しが良くなった。整備された森が視界に入り、関心が増すことを期待したい。以上